

H128 社会人類学：知の遠近法をまなぶ	
英名科目名	Social Anthropology
大学名	龍谷大学
連絡先	教学部 TEL:075-645-7891 FAX:075-643-5021
担当教員	青木 恵理子
開講期間	2021年04月07日(水)～2021年07月21日(水) 2講時(11時00分～12時30分) 毎週水曜日
開講形態	前期・春学期 開講曜日・講時 水曜日 2講時
単位数	2 履修年次 2年次以上
会場	瀬田学舎
授業定員	
単位互換生定員	京カレッジ生定員
試験・評価方法	平常点 10% 小テスト 30% レポート 20% 定期試験 40% 上の評価方法は、現時点での予定です。 今学期は、授業形態に適した成績評価をしたいと思っておりますので、変わる可能性があります。
超過時の選考方法	書類選考
受講料	30,000円(単位互換履修生は不要)
別途負担費用	
その他特記事項	2021年度は、オンラインにて実施します。 【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。 【授業時間外における予・復習の指示】 復習を必ずしてくる。適宜課外の課題を出すのでがんばってください。 【履修上の注意・担当者から一言】 授業はライブです。皆さんの疑問に思っていること感じていることをぶつけてください。シラバスはあくまでも目安です。皆さんとのやりとりのなかでダイナミックな授業が実現できることを楽しみにしています。分からないことがあったら、いつでも質問してください。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 オフィスアワー：水曜お昼休み 連絡方法：email(aoki@soc.ryukoku.ac.jp)
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 異なる文化を生きる人々はどのようにくらしているかということを知りながら、さまざまな社会や文化のあり方を、人の一生の流れに従って、理解していく。その過程で、同時に二つのことも学修して行く。 自分の属している、社会的・文化的環境がどのようなものかを理解する。 社会人類学のものの見方を学修する。 授業の、終盤では、理論的な理解を深めて、私たちの暮らしている地球上の暮らしを照らし出し、考察をする。</p> <p>【到達目標】 異なる文化や社会での振る舞い方や考え方を理解することにより、目からうろこが落ちる経験をして、文化や社会によって自分の振る舞いや考え方や経験がどのように作られているかを理解する。身近な出来事を、社会人類学の考え方で考察することができる。</p>

全く異なった振る舞い方や考え方を理解するための、想像力を身に着ける。
論理的な考えかたを身に着ける。
知的生産の基本技術(たとえば、聞いたことを適切にノートする)を身に着ける。

【講義方法】
講義中心。ビデオ、その他映像資料、音響資料を使う予定。アンケート、小テスト、レポートなどを授業に織り交ぜる。聞きながら、理解し、まとめ、ノートを取ることができるよう講義を行う。アンケート、小テスト、レポートで、受講者の理解を丁寧に確かめながら授業をすすめる。

講義スケジュール
第01回 人類学・社会人類学・文化人類学(直感的理解) 文化
第02回 文化と言語はどのように似ているか? 文化、言語、弁別性
第03回 フィールドワーク、どんな研究方法?
第04回 (文化/社会)人類学固有の方法
第05回 フローレス島で「生まれる」
第06回 誕生・出産の文化的多様性/現代日本における出産
第07回 生命と社会/生の変容
第08回 子どもの誕生 「子どもの誕生」近代家族
第09回 大人になる
第10回 ジェンダー・セクシュアリティ
第11回 働くことと生きること
第12回 病気・不運
第13回 死
第14回 まとめ 質問に答えて
第15回目 特別講義：インドネシアの芸能と文化

教科書	特になし
参考書	○波平恵美子編『文化人類学』(医学書院)(ISBN:9784260013178) ○米山・谷編『文化人類学を学ぶ人のために』(世界思想社)(ISBN:4790703886) ○田中・中谷編『ジェンダーで学ぶ文化人類学』(世界思想社)(ISBN:4790710963) 必要に応じその都度示す。